

第六期長期・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート
第14回実施分（令和5年6月23日開催） 自由記載欄
【傍聴者 会場5名・オンライン16名】

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。（傍聴者1名記載）

- ・1) 財政シミュレーションの報告において、庁内に専従のワーキングチームが設置？され、この度初めて外部委託ではなく、市役所のスタッフ自らシミュレーション資料を作成した話が紹介され、正直、驚きました。

そのような行政の皆さんの努力に対して、市議会の側が、本来の責務を果たすべく対応することができるのか、厳しく問われている現実を、一市民として、あらためて認識いたしました。

- 2) 今回提示されたシミュレーションのキーワードが「公共施設の大更新時代」であり、それを財政的に乗り越えるためのキーワードが「新たな価値付加」であることは理解できました。問題は、「新たな付加価値」の内容ですが、肝心のその部分は、オブラートに包まれていました。既存の手法を当てはめるなら、PFI的なスキームが頭に浮かびますが、市所有不動産の有効活用というフラットな目線で見れば、市役所、市民文化会館、体育館、さらには図書館、グリーンセンター、の機能をどのような容れ物に収め、その容れ物全体の収益をどう確保していくのか、という話になります。しかし、そのためには、建物や都市計画の規制緩和を可能にする特例措置が必須でしょう。そうすると、周辺地域に与える影響、さらには、既存の商業地域に与える影響も、軽視できません。

- 3) 上述の2)と関連しますし、シミュレーションの評価欄で言及もされていますが、市政の重要課題でありながら市の対応が遅れている中長期的課題、すなわち、大規模災害対策および三鷹、吉祥寺の駅前広場事業が、シミュレーションに算入されていないのは、なぜでしょうか？

単純に、松下市政の優先課題がそこにはなく、少なくとも六長の期間に政策的資源が投入される可能性はないという政治的現実を「付度」しての事なのか、あるいは、その点は次期長期計画策定時に取り組むべき重要課題であるからこそ、現時点では禁欲的姿勢を保ったということなのか、明記して頂きたいと思えます

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。（傍聴者1名記載）

- ・前回、自治体主導の市民フォーラム的試みにおけるファシリテーターの重要性と、武蔵野市における養成講座の意義を高く評価する意見が示され、さっそく、今回の素案に反映されていました。であるならば、今回の財政に関する議論において言及のあった「市民社会福祉協議会」が力を入れてきた「地域福祉ファシリテーター」の養成と、そこで育まれた人材の活用について、次回の

「福祉・健康」分野の審議において、検討がなされるべきではないでしょうか。
策定委員の中にご存じの方はおられるはずですが、周辺自治体およびルーテル神学大学の連携協働でファシリテーターの養成が行われてきたにも関わらず、なぜ、そのことの言及さえないのでしょうか？ シンプルに、解せません。

- ・素案の審議に入ったタイミングで、策定委員の皆様のマスクを外した表情が少しずつ見られるようになり、新鮮な感じが致しました。

第六期長期・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート【追加分】 第13回実施分（令和5年5月25日開催） 自由記載欄

- 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。（傍聴者1名記載）

委員の方から将来人口推計について、世帯数の観点から意見が出たと思います。
私の周囲でも、現在の将来人口推計に問題意識を持っている人は本当に多いです。
将来人口推計によっては武蔵野市の未来が変わる可能性があります。
負の遺産を継続して生み出すことを容認していいのかどうか。
将来人口推計はそれだけ重いものです。
委員長発言もありましたが、今後、現在の将来人口推計でいいのか、しっかりと議論し直してほしいと思います。
それが民意だと認識しています。

- その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。（傍聴者1名記載）

とにかく、将来人口推計について、人口が減少した場合なども想定した議論をしてほしいです。
どうかよろしくをお願いします！

※文字及び文章はできる限りアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。
また、委員名については削除しています。